

成田空港をイノベーションのハブに ～東京大学 先端科学技術研究センターと包括連携協定を締結～

成田国際空港株式会社は、東京大学先端科学技術研究センター（以下、東大先端研）と共に、**将来の成田空港エアポートシティ発展の核となるイノベーション・ハブ構築**に向けて、産学で連携・協力することを目指し、包括連携協定を締結いたしました。

今後、両者で共同研究や社会連携研究部門の設立を目指した準備、賛同する企業との共創・パートナーシップの促進等、より具体的な取り組みを推進していきます。

■協定締結の目的

東大先端研：社会のニーズを踏まえた先端科学技術の新領域の開発及び社会実装

成田空港：世界のサプライチェーンを支える基盤交通インフラとしての機能を果たしつつ、イノベーションのハブとして、今後成田空港を核にエアポートシティを発展させていくことにより日本の成長に寄与する

■主な連携事項

エアポートシティにおけるアカデミアを核としたイノベーション・ハブ構築に向けた協力
航空イノベーションの実現に向けた研究を推進し、実証・実装を図る

（想定されるテーマ）

- サステナブルな航空の実現に向けた空港実環境フィールド実験（空港を実証フィールドとして活用した次世代航空交通管理（管制）・空港運用）
- 科学に基づく空港設計・運用最適化（グランドハンドリング等の自動化・高度化）
- 統合型エア・ソリューションの創出（空港運営・航空機運航・航空管制の統合）
- エアポートシティ構想の実現（航空ネットワーク発展と地政学・サプライチェーンを踏まえ、日本および地域経済に波及する地域共創イノベーションハブ形成）

